

科学研究費助成事業 研究成果報告書

令和 4 年 6 月 8 日現在

機関番号：13301

研究種目：新学術領域研究（研究領域提案型）

研究期間：2015～2019

課題番号：15H05965

研究課題名（和文）物質文化の変遷と社会の複雑化

研究課題名（英文）Transition of Material Culture and Emergence of Complex Society

研究代表者

中村 慎一（Nakamura, Shin'ichi）

金沢大学・歴史言語文化学系・教授

研究者番号：80237403

交付決定額（研究期間全体）：（直接経費） 41,500,000円

研究成果の概要（和文）：土器や玉器の形態学的分析から編年を構築し、新石器時代研究の時間的枠組みを確立した。土器研究では、民族考古学や脂質分析の成果を援用しつつ、河姆渡文化の粥調理から良渚文化の蒸し米調理への変遷を明らかにした。耕起具あるいは収穫具とされる石器を対象に、使用痕分析や実験考古学と協働して機能復元を行った。玉器関連では、良渚系玉器の各地への拡散が黄河流域地方文明の勃興の契機となったことを論じた。漆器については、ウルシ塗装工程と使用樹種の復元について大きな発見があった。遺跡研究に関しては、良渚遺跡群およびその近隣の水利施設群を中心に構造解明を進め、良渚遺跡群の都市性と稲作文明の成立について考察を深めた。

研究成果の学術的意義や社会的意義

綿密な遺物編年研究と数百点に及ぶ放射性炭素年代測定結果の統合により精確な時間軸を提示した。遺物研究では、いわゆる考古学の諸分野や動植物学、民族誌などと協働することで、狭義の考古学研究では解明が不可能であった事柄についても解明することができた。

遺跡研究についても、文献史学、文化人類学、政治学、地理情報科学などの成果を援用しつつ、中国における都市文明の生成と、その世界史的意義について、従来とは異なる新たな視座を提供することに成功した。

文理にまたがる多様な学問領域の協働と、日中はもとより欧米からの参加者をも含む国際共同研究のあり方は、考古学研究の新たな方向性を示すものである。

研究成果の概要（英文）： In this project, we elucidated sequences of pottery and jade articles based on their typological classification and established the chronology of the Neolithic period. Study on pottery showed that consumed food changed from rice porridge in the Hemudu Culture to steamed rice in the Liangzhu Culture, referring to ethnoarchaeology and phospholipid analyses. Study on stone tools considered as tillage tools or harvest tools showed their function from the analyses of use traces and experimental archaeology. Study on jade articles showed that diffusion of Liangzhu Jade articles over a wide region triggered the prosperity of local cultures along the Yellow River. Analyses on lacquerware showed the ancient technique of lacquer coating and tree species used for the bodies.

Finally, study of archeological sites revealed the structure of the Liangzhu Site Complex and the nearby hydraulic system and deepened our understanding of urbanism and emergent rice civilization in that site complex.

研究分野：考古学

キーワード：考古学 先史学 新石器文化 都市形成 中国文明

1. 研究開始当初の背景

本領域が主要な対象とする長江下流域の新石器時代文化は、上山文化→跨湖橋文化→河姆渡／馬家浜文化→崧沢文化→良渚文化→銭山漾／広富林文化と変遷することが明らかになっていった。本研究では、これまでに豊富な研究蓄積のある田螺山遺跡（河姆渡文化期）と良渚遺跡群（良渚文化期）の調査を継続し、その文明史上の意義を明らかにしていくとともに、従来の研究の空白を埋めるべく、新発見の貝塚遺跡として海洋適応に関する貴重な情報を提供する井頭山遺跡（跨湖橋文化期）、そして新石器時代末期の広富林遺跡（銭山漾／広富林文化期）の集中的な調査を行い、新石器時代 6000 年間の物質文化目録を完成させる必要があった。

2. 研究の目的

本計画研究の目的は、中国長江流域の新石器時代を対象として、物質文化の時間的・空間的広がりや把握を通じて、中国各地における社会複雑化を跡づけ、新石器時代地方文明の生成と崩壊、青銅器時代中国文明の成立の過程を解明することにある。

具体的には、(1) アジア稲作発祥地としての中国におけるイネ栽培化プロセスの高精度復元、(2) 長江流域に成立した新石器時代稲作文明の興亡にかかる原因究明、(3) 青銅器時代以降の中国文明において稲作文明が果たした役割の解明、の 3 点を中心に研究を進める。それらを通じて、稲作に基盤を置く世界で唯一の古代文明としての中国文明の特質を解明し、その強靱なレジリアンスの源泉について新たな洞察を得る。

3. 研究の方法

年 2 回の領域全体調査および各メンバーの必要に応じた個別調査を通し、下記の研究を進める。

(1) 遺跡研究

杭州湾北岸の馬家浜文化の遺跡が沖積平野に立地するのに対し、杭州湾南岸の河姆渡文化では山地／平野の境界地帯を強く指向する。この差異が、山地の資源を得がたい杭州湾北岸で稲作専業経済への移行がより早く進行した要因と考えられるため、両文化の遺跡の比較研究を実施する。

(2) 土器研究

計画研究 A03 の小林正史と共同で土器の形式学的細分を進めると同時に、各土器型式に暦年代を与えるために、計画研究 A05 と共同で土器付着炭化物の系列的年代測定を実施する。また、良渚遺跡群出土土器の網羅的検討を進め、異系統土器の抽出に努める。

(3) 石器研究

浙江省の方家洲遺跡（馬家浜文化後期～崧沢文化期）、石馬兜遺跡（崧沢文化期）、文家山遺跡（良渚文化期）等の石器加工遺跡の出土品を対象に、石器加工工程の復元的研究を進める。また、良渚文化期における石材選択、製作技法の統一性とその背後に存在する専業生産体制を再確認する。

(4) 玉器研究

各時期における玉器製作址の出土品（原材料、未製品、加工用石器等）の観察・分析を進め、製作技法の時代的変遷についてデータを蓄積する。また湖北省石家河遺跡、山西省陶寺遺跡、陝西省石峁遺跡などの新石器時代後期の玉器群についても資料収集を行い、器種構成や玉材選択の相違について検討する。

(5) 漆器研究

浙江省では跨湖橋文化（約 8000 年前）の時代から漆器が存在することが明らかになっているが、塗装の工程、顔料の種類、使用される樹種などに関する研究が全く手つかずであるため、考古学と分析化学が手を携えてそれらの研究を行う。

(6) 文明論の学史的 research

学術史や民族史の視点から研究を進め、中国ナショナリズムと中国文明観との関係性をめぐる関連史料を収集する。また、世界各地の諸古代文明との比較から中国文明の共通性と独自性について検討を加える。

4. 研究成果

研究成果として、「(1) アジア稲作発祥地としての中国におけるイネ栽培化プロセスの高精度復元」については、河姆渡文化と良渚文化を中心に、土器、石器、玉器の形態学的分析から編年

を行い、変遷を明らかにした。編年研究により、あらゆる研究に必要となる「時間のものさし」を提供し、稲作専業社会の成立と土器・石器の変化の相関を解明した。また、石器組成と使用痕分析、実験考古学的分析を通じて、耕起具あるいは収穫具とされる石器の機能を解明した。

「(2) 長江流域に成立した新石器時代稲作文明の興亡にかかる原因究明」については、まず良渚遺跡群の時間的下限と後続の銭山漾文化との関係について、良渚遺跡群が銭山漾文化まで存続した事実を指摘した。また、計画研究 A02 と協働して、良渚遺跡群近隣の水利施設群の構造解明を通し、良渚文化を一つの到達点とする長江流域稲作文明の成立と衰退の様相について考察した。

「(3) 青銅器時代以降の中国文明において稲作文明が果たした役割の解明」については、特に新規性の高い成果を得ることができた。玉器の形態・組成分析による良渚系玉器の黄河流域への拡散などは、黄河流域と長江流域の相互交流を物語るばかりでなく、良渚稲作文明との接触が黄河流域地方文明の勃興の契機となったとする示唆を与えることともなった。

土器研究については、計画研究 A03 の小林正史による民族考古学研究、計画研究 A05 の宮田佳樹による脂質分析との共同研究により、土器形態の変化と利用方法や生業が相互に関連することを示し、河姆渡文化の粥調理から良渚文化の蒸し米調理への変化を明らかにした。

石器研究では、農耕具を中心に計画研究 A04 の宇田津徹朗、田崎博之と共に、その形態や組成の多様化が水田の立地や構造の変化と連動し、稲作技術の向上に関わる現象であることを明らかにした。

漆器研究では、ウルシ塗膜のクロスセクション分析と顔料の定性分析を行い、水銀朱とベンガラの双方が用いられていることを明らかにした。熱分解ガスクロマトグラフィー質量分析からは、使用されるウルシ塗料がウルシノキ由来ではなく、ハゼノキ由来であることが判明した。

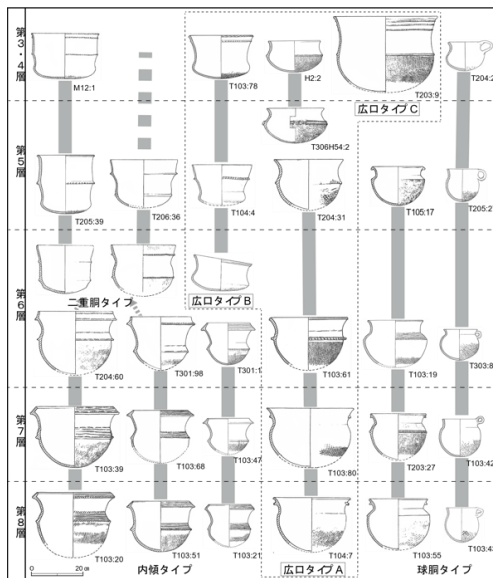


図1: 河姆渡文化土器(釜)の編年



図2: 石製耕起具・収穫具の変遷

以上は、主な研究成果の一部である。当初設定した 3 つの目的に沿って多くの重要な知見が得られ、新しい成果を十分に挙げることができたと自己評価する。大部分の研究成果は異分野融合の産物である。稲作と中国文明の関係を検討する過程で学際研究は不可欠であり、伝統的な考古学にはない独自の視点からのアプローチこそ「総合稲作文明学」を創成する意義と言える。

なお、上記の一連の成果は、中村慎一・劉斌編『河姆渡と良渚—中国稲作文明の起源—』(雄山閣、2020)、中村慎一編『中国江南の考古学』(中国文明起源プロジェクト、2022)において多数の論文として公表した。併せてご参照いただければ幸いです。

5. 主な発表論文等

〔雑誌論文〕 計47件（うち査読付論文 11件 / うち国際共著 10件 / うちオープンアクセス 3件）

1. 著者名 Tanaka Katsunori, Zhao Chunfang, Wang Ningyuan, Kubota Shinji, Kanehara Masaaki, Kamijo Nobuhiko, Ishikawa Ryuji, Tasaki Hiroyuki, Kanehara Minako, Liu Bin, Chen Minghui, Nakamura Shin-ichi, Udatsu Tetsuro, Wang Cailin	4. 巻 2
2. 論文標題 Classification of archaic rice grains excavated at the Mojiaoshan site within the Liangzhu site complex reveals an Indica and Japonica chloroplast complex	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 Food Production, Processing and Nutrition	6. 最初と最後の頁 -
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1186/s43014-020-00028-8	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である)	国際共著 該当する

1. 著者名 吉開将人	4. 巻 -
2. 論文標題 中国近代学術史上の良渚考古学 中国文明多元論、“長江文明論”の歴史的系譜	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 河姆渡と良渚：中国稲作文明の起源	6. 最初と最後の頁 89-100
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 楊平	4. 巻 -
2. 論文標題 複合生態農業システムからみる中国の農耕文明	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 河姆渡と良渚：中国稲作文明の起源	6. 最初と最後の頁 179-187
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 原田幹・楨林啓介	4. 巻 -
2. 論文標題 長江下流域における新石器時代の収穫具とその独自性	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 河姆渡と良渚：中国稲作文明の起源	6. 最初と最後の頁 275-284
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 秦 小麗, 中村慎一	4. 巻 -
2. 論文標題 玉器生産からみた良渚文化期の社会	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 河姆渡と良渚：中国稲作文明の起源	6. 最初と最後の頁 169-178
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 該当する

1. 著者名 中村慎一	4. 巻 -
2. 論文標題 中国稲作文明の起源	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 河姆渡と良渚：中国稲作文明の起源	6. 最初と最後の頁 353-365
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 小柳美樹	4. 巻 -
2. 論文標題 復原石犁の実験	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 河姆渡と良渚：中国稲作文明の起源	6. 最初と最後の頁 295-304
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 小柳美樹	4. 巻 -
2. 論文標題 石製農耕具からみた長江下流域稲作農耕の成立	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 河姆渡と良渚：中国稲作文明の起源	6. 最初と最後の頁 262-274
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 小柳美樹	4. 巻 -
2. 論文標題 副葬過濾器からみた良渚墓制の成立過程	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 日々の考古学	6. 最初と最後の頁 233-245
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 神谷嘉美	4. 巻 -
2. 論文標題 田螺山遺跡・良渚遺跡群出土漆器のモノづくり技術	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 河姆渡と良渚：中国稲作文明の起源	6. 最初と最後の頁 150-160
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 吉開将人	4. 巻 -
2. 論文標題 溥儀の悲憤 「宣統十六年」の紫禁城	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 かなしむ人間 人文学で問う生き方	6. 最初と最後の頁 131-167
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 久保田慎二・宮田佳樹・小林正史・孫国平・王永磊・中村慎一	4. 巻 154
2. 論文標題 河姆渡文化の副食調理土器 学際的手法によるアプローチ	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 古代	6. 最初と最後の頁 37-54
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 該当する

1. 著者名 秦小麗・中村慎	4. 巻 18
2. 論文標題 新石器時代後期の黄河流域における長江系玉器の拡散 山西省清涼寺墓地と陶寺墓地の分析を中心として	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 中国考古学	6. 最初と最後の頁 53-71
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 榎林啓介	4. 巻 65-2
2. 論文標題 書評 原田幹著『東アジアにおける石製農具の使用痕研究』	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 考古学研究	6. 最初と最後の頁 30-32
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Kiiti Takahashi・YangPing	4. 巻 1
2. 論文標題 動物群之奥妙	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 化石	6. 最初と最後の頁 49-53
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 該当する

1. 著者名 秦小麗	4. 巻 21
2. 論文標題 伝統的なミュージアムにおけるコレクション、展示、フィールドリサーチ	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 金沢大学 文化資源学研究	6. 最初と最後の頁 15-21
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 N.Watanabe,S.Nakamura,B.Liu,N.Wang	4. 巻 Volume 11
2. 論文標題 Utilization of Structure from Motion for processing CORONA satellite images: Application to mapping and interpretation of archaeological features in Liangzhu Culture, China	5. 発行年 2017年
3. 雑誌名 Archaeological Research in Asia	6. 最初と最後の頁 38-50
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1016/j.ara.2017.06.001	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 該当する

1. 著者名 秦小麗	4. 巻 第4期
2. 論文標題 北米の博物館と博物館学 - カナダのロイヤルオンタリオ博物館を事例として -	5. 発行年 2017年
3. 雑誌名 博物館学集報	6. 最初と最後の頁 43-47
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 秦小麗	4. 巻 第4期
2. 論文標題 中国初期国家形成過程中的牙璋及其意義	5. 発行年 2017年
3. 雑誌名 中原文化研究	6. 最初と最後の頁 85-94
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 秦小麗・中村慎一・孫国平・王永磊	4. 巻 第17号
2. 論文標題 管珠類から見た中国東部地区の玉器生産技術変化とその意義	5. 発行年 2017年
3. 雑誌名 中国考古学	6. 最初と最後の頁 1-27
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 秦小麗	4. 巻 第5集
2. 論文標題 中国における文化資源の保存と活用 高度経済成長期の文化資源保存と活用	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 博物館学集報	6. 最初と最後の頁 45-50
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 榎林啓介	4. 巻 -
2. 論文標題 中国新石器時代長江流域農業景観的変遷	5. 発行年 2017年
3. 雑誌名 探求環境問題解決之道 - 人と自然和諧共存	6. 最初と最後の頁 112-123
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 原田幹	4. 巻 第39号
2. 論文標題 実験石犁の使用痕分析 牽引実験と出土資料との使用痕の比較	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 金沢大学考古学研究紀要	6. 最初と最後の頁 45-60
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 松永篤知	4. 巻 第39号
2. 論文標題 自然界に見る編み 編物起源解明の手がかりとして	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 金沢大学考古学研究紀要	6. 最初と最後の頁 61-66
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 久保田慎二・小林正史・宮田佳樹・孫国平・王永磊・中村慎一	4. 巻 第17号
2. 論文標題 河姆渡文化における煮沸土器の使い分けと調理に関する学際的研究	5. 発行年 2017年
3. 雑誌名 中国考古学	6. 最初と最後の頁 73-92
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 該当する

1. 著者名 Shinji Kubota, Hirofumi Matsumura	4. 巻 -
2. 論文標題 Morphometric records of Huiyaotian Human Teeth	5. 発行年 2017年
3. 雑誌名 Bio-Anthropological studies of early Holocene Hunter-Gatherer sites at Huiyaotian and Liyupo in Guangxi, China	6. 最初と最後の頁 85-88
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Shinji Kubota, Hirofumi Matsumura	4. 巻 -
2. 論文標題 Morphometric records of Liyupo Human Teeth	5. 発行年 2017年
3. 雑誌名 Bio-Anthropological studies of early Holocene Hunter-Gatherer sites at Huiyaotian and Liyupo in Guangxi, China	6. 最初と最後の頁 145-148
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Shinji Kubota, Hirofumi Matsumura	4. 巻 -
2. 論文標題 The origin of early Holocene Hunter-Gatherer at Huiyaotian and Liyupo in Guangxi, Southern China: Odontmetric Perspective	5. 発行年 2017年
3. 雑誌名 Bio-Anthropological studies of early Holocene Hunter-Gatherer sites at Huiyaotian and Liyupo in Guangxi, China	6. 最初と最後の頁 171-180
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 久保田慎二	4. 巻 -
2. 論文標題 下七垣文化研究の現状と課題	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 大貫静夫先生退職記念論文集	6. 最初と最後の頁 81-100
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Hosoya, L.A., M. Kobayashi, S. Kubota, G.Sun	4. 巻 -
2. 論文標題 Rice and the Formation of Complex Society in East Asia: Reconstruction of Cooking Through Pot Soot- and Carbon-deposit Pattern Analysis	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 Far from the Hearth Essays in Honour of Martin K. Jones	6. 最初と最後の頁 127-144
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 該当する

1. 著者名 中村慎一・劉斌・王寧遠	4. 巻 64-2
2. 論文標題 中国浙江省良渚遺跡群	5. 発行年 2017年
3. 雑誌名 考古学研究	6. 最初と最後の頁 109-111
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 該当する

1. 著者名 鈴木三男・孫国平・鄭雲飛・中村慎一	4. 巻 26-2
2. 論文標題 中国浙江省田螺山遺跡から出土したイチョウの木製品	5. 発行年 2017年
3. 雑誌名 植生史研究	6. 最初と最後の頁 75-78
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 該当する

1. 著者名 Dongdong Wang, Shin'ichi Nakamura	4. 巻 66-1
2. 論文標題 Case Studies in Large-Scale Archaeological Site Conservation and Management in China: The Liangzhu, Yin Xu, and Han Yangling Sites	5. 発行年 2017年
3. 雑誌名 HISTORIA: Questões & Debates	6. 最初と最後の頁 113-140
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 該当する

1. 著者名 中村慎一	4. 巻 141号
2. 論文標題 中国稲作文明の起源を探る	5. 発行年 2016年
3. 雑誌名 日本学術会議中部地区会議ニュース	6. 最初と最後の頁 6-8
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Qin Xiaoli	4. 巻 Vol. 55 No. 2
2. 論文標題 Turquoise Ornaments and Inlay Technology in Ancient China	5. 発行年 2016年
3. 雑誌名 Asian Perspectives: the Journal of Archaeology for Asian and the Pacific	6. 最初と最後の頁 208-239
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1353/asi.2016.0019	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 吉開将人	4. 巻 150
2. 論文標題 「チク鹿」の歴史は誰のものか 「炎黄」顕彰問題と二十世紀末中国民族主義の諸相	5. 発行年 2016年
3. 雑誌名 北海道大学文学研究科紀要	6. 最初と最後の頁 1-75
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.14943/bgs1.150.r1	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 小柳美樹	4. 巻 -
2. 論文標題 従“石犁”看崧澤、良渚的農業社会	5. 発行年 2016年
3. 雑誌名 崧澤文化学术研討会論文集	6. 最初と最後の頁 278-283
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 榎林啓介	4. 巻 -
2. 論文標題 稲作出現地とその周辺部への伝播の様相-長江流域を例として	5. 発行年 2017年
3. 雑誌名 平成28年度瀬戸内海考古学研究会大会予稿集	6. 最初と最後の頁 1-10
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 秦小麗	4. 巻 -
2. 論文標題 二里頭文化時期的陶器拡散以及背景	5. 発行年 2017年
3. 雑誌名 玉器与王権的誕生 国際学会議論文集	6. 最初と最後の頁 -
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 小柳美樹	4. 巻 -
2. 論文標題 石犁からみた崧澤、良渚の農耕社会	5. 発行年 2017年
3. 雑誌名 「中国新石器時代崧澤文化期における稲作農耕の実態研究」(科学研究費基盤研究(B)研究成果報告書)	6. 最初と最後の頁 75-80
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Shinji kubota, Hirofumi Matsumura	4. 巻 -
2. 論文標題 Morphometric of Huiyaotian Human Teeth	5. 発行年 2017年
3. 雑誌名 Huiyaotian and Liyupo: The Excavation of a Neolithic site in Southern China	6. 最初と最後の頁 85-88
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Shinji kubota, Hirofumi Matsumura	4. 巻 -
2. 論文標題 Morphometric of Liyupo Human Teeth	5. 発行年 2017年
3. 雑誌名 Huiyaotian and Liyupo: The Excavation of a Neolithic site in Southern China	6. 最初と最後の頁 145-148
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Hirofumi Matsumura, Shinji kubota, LiZhen, Nguyen, Huang Yunzhong, HuangQiang	4. 巻 -
2. 論文標題 Origin of Early Hunter-Gatherers at Huiyaotian and Liyupo Sites in Guangxi, Southern China: Odontometric Perspective	5. 発行年 2017年
3. 雑誌名 Huiyaotian and Liyupo: The Excavation of a Neolithic site in Southern China	6. 最初と最後の頁 171-180
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 原田幹	4. 巻 -
2. 論文標題 復元石犁の使用痕分析 - 牽引実験による使用痕と出土資料との比較 -	5. 発行年 2017年
3. 雑誌名 『中国新石器時代崧澤文化期における稲作農耕の実態研究』(科学研究費基盤研究(B)研究成果報告書)	6. 最初と最後の頁 93-108
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 中村慎一	4. 巻 -
2. 論文標題 良渚文化期の農業と良渚遺跡群	5. 発行年 2016年
3. 雑誌名 宇田津徹朗 編 『長江下流域における基盤整備型水田の成立期に関する学際的研究』平成24年度～平成27年度科学研究費補助金（基盤研究（B）国際学術調査）成果報告書	6. 最初と最後の頁 1-4
掲載論文のDOI（デジタルオブジェクト識別子） なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 久保田慎二	4. 巻 30
2. 論文標題 劉荘遺跡からみた下七垣文化の社会構造	5. 発行年 2016年
3. 雑誌名 東京大学考古学研究室研究紀要	6. 最初と最後の頁 33-67
掲載論文のDOI（デジタルオブジェクト識別子） なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 小柳美樹	4. 巻 -
2. 論文標題 良渚遺跡群における農耕社会	5. 発行年 2016年
3. 雑誌名 宇田津徹朗 編 『長江下流域における基盤整備型水田の成立期に関する学際的研究』平成24年度～平成27年度科学研究費補助金（基盤研究（B）国際学術調査）成果報告書	6. 最初と最後の頁 97-116
掲載論文のDOI（デジタルオブジェクト識別子） なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

〔学会発表〕 計96件（うち招待講演 7件／うち国際学会 33件）

1. 発表者名 神谷嘉美
2. 発表標題 “漆黒”をめぐる東西の温故知新
3. 学会等名 石川県次世代産業育成講座・新技術セミナー
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 楊平
2. 発表標題 水辺と暮らし - コミュニティの力 -
3. 学会等名 滋賀県立琵琶湖博物館研究セミナー
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 YANG, Ping
2. 発表標題 Lake Biwa and environmental policy
3. 学会等名 Sino-Japan joint workshop on plateau lakes' eutrophication and ecosystem restoration, Yunnan University (国際学会)
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 槇林啓介
2. 発表標題 農具組成からみた石犁
3. 学会等名 新学術領域「稲作文明学」2019年度夏季全体会議
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 小柳美樹
2. 発表標題 古代中国の神々
3. 学会等名 平塚市民・大学交流事業「考古学の世界」
4. 発表年 2020年

1. 発表者名 小柳美樹
2. 発表標題 中国の農耕と起源とその展開 2
3. 学会等名 JICA地球ひろば
4. 発表年 2020年

1. 発表者名 小柳美樹
2. 発表標題 中国の農耕の起源とその展開 1
3. 学会等名 JICA地球ひろば
4. 発表年 2020年

1. 発表者名 小柳美樹
2. 発表標題 石犁2019夏
3. 学会等名 「稲作文明」新領域全体会議
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 村上由美子, 鈴木三男, 浦 蓉子, 川崎雄一郎, 鶴来航介, 西原和代, 山下優介, 孫 国平, 中村慎一
2. 発表標題 浙江省田螺山遺跡における木製品の用材傾向 クワ属の多用とその利用法 (6 /
3. 学会等名 第34回日本植生史学会大会
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 秦小麗, 中村慎一
2. 発表標題 長江中流域における玉器の生産と流通
3. 学会等名 日本中国考古学会2019年度大会
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 原田幹, 槇林啓介, 小柳美樹, 田崎博之, 中村慎一
2. 発表標題 復元破土器の実験とその使用痕
3. 学会等名 日本中国考古学会2019年度大会
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 久保田慎二, 小林正史, 宮田佳樹, 鏡百恵, 劉斌, 王寧遠, 陳明輝, 中村慎一
2. 発表標題 良渚遺跡群における煮沸土器の使い分け - 卞家山・葡萄ハンの分析を中心に -
3. 学会等名 日本中国考古学会2019年度大会
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 渋谷綾子, 孫国平, 劉斌, 王寧遠, 陳傑, 宋建, 岡崎健治, 板橋悠, 中村慎一
2. 発表標題 人骨の歯石に残るデンプン粒からみた長江下流域新石器時代の植物食
3. 学会等名 第73回日本人類学会大会
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 田中克典, 上條信彦, 久保田慎二, 石川隆二, 田崎博之, 金原正明, 金原美奈子, 劉斌, 王寧遠, 陳明輝, 王才林, 趙春芳, 中村慎一, 宇田津徹朗
2. 発表標題 浙江省良渚遺跡群より出土したイネ種子のDNA分析
3. 学会等名 日本文化財科学会第36回大会
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 久保田慎二, 秦小麗, 吉開将人, 小柳美樹, 槇林啓介, 楊平, 神谷嘉美, 松永篤知, 中村慎一
2. 発表標題 長江下流域における物質文化の変遷と社会の複雑化
3. 学会等名 日本考古学協会第85回(2019年度)総会
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 Yoshimi Kamiya, Takayuki Honda, Bin Liu, Ningyuan Wang, Guoping Sun, Shinichi Nakamura
2. 発表標題 Analysis of the lacquer ware excavated from the ruins of the Yangtze Valley in the Neolithic
3. 学会等名 、22nd International Symposium on Analytical and Applied Pyrolysis (PYR02018) (国際学会)
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 久保田慎二, 小林正史, 宮田佳樹, 北野博司, 劉斌, 王寧遠, 陳明輝, 中村慎一
2. 発表標題 良渚文化の蒸し調理と土器の使い分け 良渚遺跡群美人地遺跡を例として
3. 学会等名 日本中国考古学会2018 年度大会
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 渋谷綾子・孫国平・劉斌・王寧遠・陳傑・宋建・岡崎健治・板橋悠・中村慎一
2. 発表標題 歯石の残存デンプン粒を用いた長江下流域新石器時代の植物食の復元
3. 学会等名 第72 回日本人類学会大会
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 渋谷綾子・孫国平・劉斌・王寧遠・陳傑・宋建・岡崎健治・板橋悠・中村慎一
2. 発表標題 人骨の歯石の残存デンプン粒からみた長江下流域新石器時代の植物食
3. 学会等名 考古学研究会第64 回総会・研究集会
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 HARADA,M, MAKIBAYASHI,K
2. 発表標題 Harvesting tools in the late Neolithic lower Yangtze area
3. 学会等名 SEAA Conference Nanjing 2018 (国際学会)
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 村上由美子・浦 蓉子・西原和代・山下優介・川崎雄一郎・鶴来航介・孫 国平・中村慎一
2. 発表標題 中国新石器時代の木材加工にみる刃こぼれの痕跡 浙江省田螺山遺跡出土材の検討から
3. 学会等名 日本文化財科学会第35 回大会
4. 発表年 2018年

1 . 発表者名 S. Kubota, M. Kobayashi, Y. Miyata. G. Sun, Y. Wang, S. Nakamura
2 . 発表標題 Rice Cooking Method in Hemudu Culture at the Tianluoshan Site, Zhejiang Province, China
3 . 学会等名 SEAA Conference Nanjing 2018 (国際学会)
4 . 発表年 2018年

1 . 発表者名 Miyata, Y., Kubota, S., Kobayashi, M., Nishida, Y., Horiuchi, A., Miyauchi, N., Yoshida, K., Sun, G., Wang, Y. and Nakamura
2 . 発表標題 Paleo diets reconstructed from food residue in pottery in Lower Yangtze area using lipid analysis and compounds-specific and bulk stable isotope composition
3 . 学会等名 SEAA Conference Nanjing 2018 (国際学会)
4 . 発表年 2018年

1 . 発表者名 Ayako Shibutani, Bin Liu, Ningyuan Wang, Jie Chen, Jian Song, Kenji Okazaki, Yu Itahashi, Shin'ichi Nakamura
2 . 発表標題 Plant Food in the Neolithic Lower Yangtze Area, China from Starch Granules of Human Dental Calculus
3 . 学会等名 SEAA Conference Nanjing 2018 (国際学会)
4 . 発表年 2018年

1 . 発表者名 宮田佳樹・西田泰民・堀内晶子・吉田邦夫・中村慎一
2 . 発表標題 土器残存有機物を用いた古食性復元 田螺山遺跡を例として
3 . 学会等名 日本文化財科学会第 35 回大会
4 . 発表年 2018年

1. 発表者名 板橋悠・寛張隆史・菊地大樹・丸山真史・孫国平・中村慎一・米田穰
2. 発表標題 酸素同位体比による長江下流域、田螺山遺跡への象牙製品の持ち込みの検証
3. 学会等名 日本文化財科学会第 35 回大会
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 神谷嘉美・劉斌・王寧遠・中村慎一
2. 発表標題 題從漆膜構造看中国新石器時代の漆工藝
3. 学会等名 中国古代漆器國際學術檢討會・2018 年中国文物学会漆器瑤器專業委員會年會（國際学会）
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 久保田慎二・小林正史・宮田佳樹・孫国平・王寧遠・陳明輝・王永磊・劉斌・中村慎一
2. 発表標題 新石器時代長江下游の炊器利用与其演变
3. 学会等名 中国考古学研究・第 2 屆 中日論壇（國際学会）
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 楊平
2. 発表標題 自然資源を活かす地域づくりのありかた
3. 学会等名 滋賀県立琵琶湖博物館研究セミナー
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 Kiiti Takahashi · YangPing
2. 発表標題 Relationship between the Mammuthus -Coelodonta fauna and the Northern Microblade Industries in Northeast and North China
3. 学会等名 The 6th Conference on Cultural History of Paleo Asia (国際学会)
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 秦小麗
2. 発表標題 夏時期長江系玉器在黄河中游地区的扩散
3. 学会等名 第二届中国考古学大会 (国際学会)
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 秦小麗
2. 発表標題 中国国家成立期儀礼性遺物所反映的地域間交流
3. 学会等名 中国考古学研究・第2届 中日論壇 (国際学会)
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 Shin-ichi Nakamura
2. 発表標題 Kingdom of Jade : Reconsidering Liangzhu
3. 学会等名 Copan : A Comparative Perspective Symposium (国際学会)
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 宇田津徹朗・田崎博之・中村慎一・劉斌・王寧遠・鄭雲飛
2. 発表標題 良渚遺跡群崑山地区の試掘調査から推定される水田稲作について
3. 学会等名 日本文化財科学会第34 回大会
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 板橋悠・覚張隆史・孫国平・菊地大樹・丸山真史・米田穰・中村慎一
2. 発表標題 炭素・窒素安定同位体比分析による中国長江流域の大型哺乳類の種同定
3. 学会等名 日本文化財科学会第34 回大会
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 宮田佳樹・堀内晶子・西田泰民・吉田邦夫・孫国平・中村慎一
2. 発表標題 田螺山遺跡出土土器残存有機物を用いた古食性復元
3. 学会等名 日本文化財科学会第34 回大会
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 板橋悠・覚張隆史・丸山真史・菊地大樹・澤田純明・岡崎健二・高椋浩史・孫国平・王寧遠・劉斌・中村慎一・米田穰
2. 発表標題 食性復元に基づく長江下流域の新石器農耕民の水田漁撈経済の検証
3. 学会等名 第71 回日本人類学会大会
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 Xiaoli Qin
2. 発表標題 The Dynamic relationship between South China and Vietnam in theChina early state formation period --Based on analysis of Yazhang, carnelian beads,Turquoise and seashells
3. 学会等名 The 16th Conference of European Association of Southeast Asian Archaeologists (国際学会)
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 秦小麗
2. 発表標題 中国文化遺産の調査方法と保存歷程
3. 学会等名 中国陝西省文物技術保護研究所シンポジウム『文化資源の調査方法と世界各国の比較研究』（国際学会）
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 秦小麗
2. 発表標題 玉器、トルコ石、メノウと海貝 - BC2000-1000 年之間的地域間交流
3. 学会等名 夏商時期玉器文化国際學術検討会 (国際学会)
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 Xiaoli Qin
2. 発表標題 Turquoise Ornaments and Inlay technology in Ancient Maya and China
3. 学会等名 Copan : A Comparatie Perspective Symposium (国際学会)
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 秦小麗
2. 発表標題 新石器時代後期の黄河流域における長江系玉器の拡散
3. 学会等名 日本中国考古学会2017 年度大会
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 秦小麗
2. 発表標題 中国文化資源の保存と活用
3. 学会等名 愛媛大学アジア鉄文化研究センター・愛媛大学文学部考古研究室講演
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 秦小麗
2. 発表標題 伝統的な博物館コレクション研究、展示とフィールド調査 - カナダのロイヤルオンタリオ博物館の考古学研究と関連展示を事例として -
3. 学会等名 公開シンポジウム「文化遺産の発信地としての博物館」
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 吉開将人
2. 発表標題 日本人と華南研究
3. 学会等名 華南地区国際日語教育研究会（国際学会）
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 榎林啓介・村上恭通
2. 発表標題 上島町宮ノ浦遺跡での製塩活動
3. 学会等名 第8回海洋考古学会
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 原田幹
2. 発表標題 使用痕分析からみた石製収穫具の使用方法について
3. 学会等名 東海石器研究会
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 原田幹
2. 発表標題 実験石犁の使用痕
3. 学会等名 第43回金沢大学考古学大会
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 松永篤知
2. 発表標題 良渚文化期の編物について
3. 学会等名 第43回金沢大学考古学大会
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 宮田佳樹・久保田慎二・小林正史
2. 発表標題 陶器脂質残留分析技術在考古学中的应用
3. 学会等名 華夏考古學術論壇 第四期 (招待講演)
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 Shinji Kubota
2. 発表標題 A study on the formation process of Shang burial system: Focusing on Liuzhuang site in Xiaqiyan culture
3. 学会等名 Copan: A Comparative Perspective Symposium (国際学会)
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 久保田慎二・小林正史・宮田佳樹
2. 発表標題 煮るか炊くか 田螺山遺跡のコメ調理
3. 学会等名 第43 回金沢大学考古学大会
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 久保田慎二・小林正史・宮田佳樹・劉斌・王寧遠・陳明輝・中村慎一
2. 発表標題 良渚文化における煮沸器の使い分けに関する初歩的考察
3. 学会等名 日本中国考古学会2017 年度大会
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 宮田佳樹・久保田慎二・小林正史・堀内晶子・西田泰民・宮内信雄・吉田邦夫・孫国平・中村慎一
2. 発表標題 中国新石器時代初期稲作遺構田螺山遺跡出土土器脂質分析による食性復元
3. 学会等名 日本第四紀学会2017年大会
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 久保田慎二
2. 発表標題 長江下流域の新石器時代における煮沸土器の利用とその変遷
3. 学会等名 日本中国考古学会関東部会第189 回例会
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 覚張隆史・板橋悠・岡崎健治・高椋浩史・宋建・陳傑・孫国平・劉斌・米田穰・中村慎一
2. 発表標題 新石器時代の長江下流域における移民率の評価
3. 学会等名 日本文化財科学会第 34 回大会
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 覚張隆史・板橋悠・岡崎健治・高椋浩史・澤田純明・宋建・陳傑・黄渭金・孫国平・王寧遠・劉斌・米田穰・中村慎一
2. 発表標題 新石器時代の長江下流域におけるヒトの移動性に関する研究
3. 学会等名 第71 回日本人類学会大会
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 澤田純明・佐伯史子・板橋悠・米田穰・覚張隆史・久保田慎二・王冬冬・呂夢・中村慎一・孫国平・黄渭金
2. 発表標題 中国南部の田螺山・河姆渡遺跡から出土した初期新石器時代人骨群の古病理学的所見
3. 学会等名 第71 回日本人類学会大会
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 中村慎一
2. 発表標題 稲作文明と植物利用
3. 学会等名 第32回日本植生史学会大会公開シンポジウム
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 槇林啓介
2. 発表標題 古代中国石鎌の多元性
3. 学会等名 首届中国考古学大会（国際学会）
4. 発表年 2016年

1. 発表者名 Qin Xiaoli
2. 発表標題 Inter-regional Relationships in the Hemudu Culture to Liangzhu Culture Period View from Distribution Pattern of Beads in East China
3. 学会等名 The 7th Worldwide Conference Of SEAA（国際学会）
4. 発表年 2016年

1. 発表者名 KOBAYASHI Masashi, KUBOTA Shinji, SUN Guoping, WANG Yonglei
2. 発表標題 Cooking Pottery Use-wear Analyses to Reconstruct Rice Cooking Methods of Early Rice Faemers in Japan and Middle China
3. 学会等名 The 7th Worldwide Conference Of SEAA (国際学会)
4. 発表年 2016年

1. 発表者名 榎林啓介
2. 発表標題 稲作出現地とその周辺部への伝播の様相-長江流域を例として
3. 学会等名 平成28年度瀬戸内海考古学研究会大会
4. 発表年 2016年

1. 発表者名 中村慎一
2. 発表標題 中国稲作文明の起源を探る
3. 学会等名 日本学術会議中部地区会議学術講演会(招待講演)(国際学会)
4. 発表年 2016年

1. 発表者名 久保田慎二
2. 発表標題 中国初期王朝時代における階層構造とその成立過程
3. 学会等名 金沢大学第6回文化資源学フォーラム
4. 発表年 2016年

1. 発表者名 秦小麗
2. 発表標題 試論新石器時代黄河中游地区出土的長江系玉器
3. 学会等名 早期石城和文明化進程 中国陝西神木石ボウ遺址国際學術研討会 (国際学会)
4. 発表年 2016年

1. 発表者名 久保田慎二
2. 発表標題 從陶器看陝北地区考古文化与陶寺文化的關係
3. 学会等名 早期石城和文明化進程 中国陝西神木石ボウ遺址国際學術研討会 (国際学会)
4. 発表年 2016年

1. 発表者名 Shin-ichi Nakamura
2. 発表標題 Rice Farming and Chinese Civilization: Establishing General Study of Rice-based Civilization
3. 学会等名 8th World Archaeological Congress (WAC-8 Kyoto) (国際学会)
4. 発表年 2016年

1. 発表者名 Qin Xiaoli
2. 発表標題 Jade Beads Production in East Region of China
3. 学会等名 8th World Archaeological Congress (WAC-8 Kyoto) (国際学会)
4. 発表年 2016年

1. 発表者名 中村慎一
2. 発表標題 物質文化の変遷と社会の複雑化
3. 学会等名 日中合同 総合稲作文明学シンポジウム (国際学会)
4. 発表年 2016年

1. 発表者名 中村慎一
2. 発表標題 河姆渡文化時期的日本 - 概論縄文文化 -
3. 学会等名 河姆渡文化研究中心学術講演会 (招待講演) (国際学会)
4. 発表年 2016年

1. 発表者名 久保田慎二・中村慎一
2. 発表標題 中国初期稲作文化の様相
3. 学会等名 第二回文化財・科学技術研究講演会「考古学と先端科学が明かす縄文文化と中国新石器文化」(招待講演)
4. 発表年 2016年

1. 発表者名 中村慎一
2. 発表標題 良渚都市文明の勃興と消滅
3. 学会等名 金沢大学文化資源学セミナー「文明と王権」公開講演会
4. 発表年 2016年

1. 発表者名 秦小麗
2. 発表標題 中国初期国家形成過程中的牙璋及其意義
3. 学会等名 東亜牙璋學術研討会（國際学会）
4. 発表年 2016年

1. 発表者名 吉開将人
2. 発表標題 北海道・台湾・南中国 東アジアの「学知」と民族史像
3. 学会等名 サステナビリティ国際シンポジウム：東アジアにおける大学と先住民との協業のあり方を探る 先住民文化遺産と考古学：台湾原住民とアイヌ
4. 発表年 2016年

1. 発表者名 Shin-ichi Nakamura
2. 発表標題 Living by the Waterside: Human Adaptation to Global Warming during the Holocene Climatic Optimum in China
3. 学会等名 The 16th World Lake Conference (招待講演) (國際学会)
4. 発表年 2016年

1. 発表者名 秦小麗・中村慎一・孫国平・王永磊
2. 発表標題 管珠類から見た中国東部地区の玉生産技術変化とその意義
3. 学会等名 日本中国考古学会2016年度大会
4. 発表年 2016年

1. 発表者名 久保田慎二・小林正史・孫国平・王永磊・中村慎一
2. 発表標題 スス・コゲからみた河姆渡文化における煮沸器の使用痕研究
3. 学会等名 日本中国考古学会2016年度大会
4. 発表年 2016年

1. 発表者名 中村慎一
2. 発表標題 「魚米之郷」の考古学 - 浙江省田螺山遺跡の日中共同研究 -
3. 学会等名 企画展 「魚米之郷」の考古学 講演会
4. 発表年 2016年

1. 発表者名 Shin-ichi Nakamura
2. 発表標題 Domestication of wetlands and the origin of rice cultivation in China
3. 学会等名 “上山文化”命名十周年稲作農業起源国際学術研討会（招待講演）（国際学会）
4. 発表年 2016年

1. 発表者名 中村慎一
2. 発表標題 与良渚遺址群相關的中日合作研究
3. 学会等名 紀念良渚遺址發現80周年学術研討会（招待講演）（国際学会）
4. 発表年 2016年

1. 発表者名 小柳美樹
2. 発表標題 “石犁”からみた崧澤、良渚文化期の農業社会
3. 学会等名 日本中国考古学会関東部会
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 原田幹
2. 発表標題 実験石犁の使用痕分析
3. 学会等名 日本中国考古学会関東部会
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 小柳美樹
2. 発表標題 石製農耕具からみた中国初期稲作民の社会
3. 学会等名 シンポジウム「人類学から迫る古代長江流域の稲作農耕民」
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 中村慎一
2. 発表標題 総合稲作文明学が目指すもの
3. 学会等名 総合稲作文明学シンポジウム「長江流域における文明形成 考古学と関連科学の最前線」
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 金原正明・中村慎一・鄭雲飛・金原正子
2. 発表標題 長江下流域の初期稲作文明における植物遺体群集の基礎的研究
3. 学会等名 日本文化財科学会第32回大会
4. 発表年 2015年

1. 発表者名 宇田津徹朗・田崎博之・中村慎一・金原正明・小柳美樹・藤原宏志・浦谷綾・李小寧・劉斌・王寧遠・鄭雲飛
2. 発表標題 東アジアにおける基盤整備型水田の成立期に関する実証的研究(第2報)
3. 学会等名 日本文化財科学会第32回大会
4. 発表年 2015年

1. 発表者名 米田穰・中村慎一・金原正明・細谷葵・宇田津徹朗
2. 発表標題 新学術領域研究「稲作と中国文明 - 総合稲作文明学の新構築 - 」における第四紀学の応用と展開
3. 学会等名 日本第四紀学会2015年大会
4. 発表年 2015年

1. 発表者名 中村慎一
2. 発表標題 考古学の壁を打ちやぶる - 新学術領域研究「総合稲作文明学」がめざすもの -
3. 学会等名 金沢大学新学術創成研究機構キックオフシンポジウム
4. 発表年 2015年

1. 発表者名 澤田純明・李珍・黄云忠・黄強・久保田慎二・深山絵実梨・渡辺慎也・山形真理子・Nguyen Lan Cuong・洪曉純・松村博文
2. 発表標題 中国広西ヨウ江域の先史時代遺跡から出土した採集狩猟民の古病理学的特徴
3. 学会等名 第69回日本人類学会大会
4. 発表年 2015年

1. 発表者名 松村博文・李珍・黄云忠・黄強・久保田慎二・Nguyen Lan Cuong・深山絵実梨・渡辺慎也・山形真理子・洪曉純・澤田純明・篠田謙一・海部陽介
2. 発表標題 中国広西ヨウ江域の先史狩猟民のユニークな屈葬人骨 ユーラシア東部の人類史解明に向けて
3. 学会等名 第69回日本人類学会大会
4. 発表年 2015年

1. 発表者名 秦小麗
2. 発表標題 黄河流域の早期青銅器時代における王権シンボル
3. 学会等名 第12回金沢大学文化資源学セミナー
4. 発表年 2015年

1. 発表者名 久保田慎二
2. 発表標題 中国新石器時代末期から初期王朝時代における権力の出現過程
3. 学会等名 早稲田大学総合人文科学研究センター主催シンポジウム『権力の誕生 儀礼・祭祀からみる古代文明形成の考古学的アプローチ』
4. 発表年 2016年

1. 発表者名 秦小麗
2. 発表標題 二里頭時代の地域間動態関係とその背景
3. 学会等名 玉器と王権の誕生(国際学会)
4. 発表年 2016年

1. 発表者名 中村慎一
2. 発表標題 物質文化の変遷と社会の複雑化
3. 学会等名 稲作と中国文明 - 総合稲作文明学の新構築 - キックオフシンポジウム
4. 発表年 2016年

1. 発表者名 槇林啓介
2. 発表標題 稲作伝播論の再検討 広範囲経済と稲作専業経済の視点から
3. 学会等名 第70回近江貝塚研究会
4. 発表年 2016年

〔図書〕 計5件

1. 著者名 秦小麗	4. 発行年 2017年
2. 出版社 六一書房	5. 総ページ数 278
3. 書名 中国初期国家形成の考古学的研究 - 土器からのアプローチ -	

1. 著者名 秦小麗・中村慎一	4. 発行年 2018年
2. 出版社 金沢大学国際文化資源学研究センター	5. 総ページ数 印刷中
3. 書名 黄河流域におけるトルコ石製品の生産と流通（金沢大学文化資源学研究Vol.19）	

1. 著者名 吉開将人（共著）	4. 発行年 2017年
2. 出版社 丸善出版	5. 総ページ数 784
3. 書名 中国文化事典	

1. 著者名 原田幹	4. 発行年 2017年
2. 出版社 六一書房	5. 総ページ数 319
3. 書名 東アジアにおける石製農具の使用痕研究	

1. 著者名 袁広闊・秦小麗	4. 発行年 2016年
2. 出版社 科学出版社	5. 総ページ数 266
3. 書名 早商城市文明的形成与発展	

〔産業財産権〕

〔その他〕

文部科学省科学研究費補助金新学術領域研究 稲作と中国文明 総合稲作文明学の新構築 HP
<http://www.inasaku-w3-kanazawa-u.com/>

6. 研究組織

	氏名 (ローマ字氏名) (研究者番号)	所属研究機関・部局・職 (機関番号)	備考
研究分担者	小柳 美樹 (Koyanagi Yoshiki) (40436671)	金沢大学・人間社会研究域・客員研究員 (13301)	
研究分担者	榎林 啓介 (Makibayashi Keisuke) (50403621)	愛媛大学・アジア古代産業考古学研究センター・准教授 (16301)	
研究分担者	楊 平 (You Hei) (50470183)	滋賀県立琵琶湖博物館・研究部・主任学芸員 (84202)	
研究分担者	秦 小麗 (Qin Xiaoli) (70714997)	金沢大学・国際文化資源学研究センター・客員教授 (13301)	
研究分担者	吉開 将人 (Yoshikai Masato) (80272491)	北海道大学・文学研究院・教授 (10101)	

6. 研究組織（つづき）

	氏名 (ローマ字氏名) (研究者番号)	所属研究機関・部局・職 (機関番号)	備考
研究分担者	神谷 嘉美 (Kamiya Yoshimi) (90445841)	金沢大学・歴史言語文化学系・助教 (13301)	
研究分担者	有村 誠 (Arimura Makoto) (90450212)	金沢大学・新学術創成研究機構・准教授 (13301)	

	氏名 (ローマ字氏名) (研究者番号)	所属研究機関・部局・職 (機関番号)	備考
研究協力者	劉 斌 (Liu Bin)		
研究協力者	孫 国平 (Sun Guoping)		
研究協力者	王 寧遠 (Wang Ningyuan)		
研究協力者	趙 曄 (Zhao Ye)		
研究協力者	秦 嶺 (Qin Ling)		

6. 研究組織（つづき）

	氏名 (ローマ字氏名) (研究者番号)	所属研究機関・部局・職 (機関番号)	備考
研究協力者	林 留根 (Lin Liugen)		
研究協力者	浦 蓉子 (Ura Yoko)		
研究協力者	西原 和代 (Nishihara Kazuyo)		
研究協力者	鶴来 航介 (Tsurugi Kosuke)		
研究協力者	東村 純子 (Higashimura Junko)		
研究協力者	桃井 宏和 (Momoi Hirokazu)		
研究協力者	原田 幹 (Harada Motoki)		
研究協力者	山下 優介 (Yamashita Yusuke)		

6. 研究組織（つづき）

	氏名 (ローマ字氏名) (研究者番号)	所属研究機関・部局・職 (機関番号)	備考
研究協力者	川崎 雄一郎 (Kawasaki Yuichiro)		

7. 科研費を使用して開催した国際研究集会

〔国際研究集会〕 計4件

国際研究集会 SEAA Conference Nanjing 2018, Session 34: The Formation Process of a Rice-Based Civilization in the Chinese Neolithic 3: Urbanization and Movements of People and Material	開催年 2018年～2018年
国際研究集会 稲作と中国文明	開催年 2019年～2019年
国際研究集会 総合稲作文明学シンポジウム「稲作文明から中国文明へ」	開催年 2018年～2018年
国際研究集会 浙江省龍山土トン墓の土器調査	開催年 2019年～2019年

8. 本研究に関連して実施した国際共同研究の実施状況

共同研究相手国	相手方研究機関			
中国	浙江省文物考古研究所	北京大学	中国社会科学院考古研究所	他2機関